

**マイネット、Oracle Cloud Infrastructure 最新インスタンスの導入活用を開始
64%の処理性能向上によりコストを最適化し、戦略的な取り組みであるFinOpsを加速**

株式会社マイネット（東京都港区、代表取締役社長：岩城 農）は、オラクルが国内で2025年11月に提供開始したOracle Cloud Infrastructure（OCI）Compute E6 Standardインスタンスを採用し、他社に先駆けて本番サービスに導入したことを発表いたします。

今回の導入により、従来インスタンスと比較してインフラコストを維持しつつ、処理パフォーマンスが64%向上する成果を達成しました。これは、当社の重要な戦略の一つであるFinOpsにおける成果であり、技術投資のROI（投資対効果）を最大化する全社横断の取り組みの一環です。



マイネットは、クラウド環境における「技術・財務・運用」の3部門が連携し、リアルタイムでコストと価値を最適化する経営手法であるFinOpsを重要な戦略の一つとして位置づけています。その実践の一環として、OCI Compute E6 Standardインスタンスについて早期から価値実証（Proof of Value）を実施し、2025年12月上旬には、既存ゲームタイトルのサービス環境の一部へ導入しました。

OCI Compute E6 Standardインスタンスは、第5世代AMD EPYC™プロセッサを採用したOCIの最新インスタンスで、高性能とエネルギー効率を両立する次世代コンピューティング基盤です。このインスタンスが持つ性能密度の高さが当社のゲーム事業の「高品質なユーザー体験を維持しながら、コスト最適化を実現する」という当社ゲーム事業の本質的課題解決に最適であると判断し、導入に至りました。

今回の成功を踏まえ、当社はOCI Compute E6 Standardインスタンスの利用をOCI上の全ワークロードへ段階的に拡大いたします。この移行により、個別の技術更新にとどまらない全社横断の戦略的な取り組みとしてFinOpsを加速し、クラウドインフラ全体の効率性と柔軟性を高め、持続的な収益成長の基盤を構築することを目指します。

・日本オラクル株式会社 執行役員 クラウド事業統括 クラウド・ソリューション統括
古手川 忠久氏コメント

マイネット様が最新の Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Compute E6 Standard を採用されたことを心より歓迎いたします。

OCI Compute E6 Standard インスタンスは、前世代比で大幅な性能向上と高いコスト効率を両立する次世代のコンピュータ基盤です。ゲーム・ワークロードに求められる高負荷処理や高可用性の要件に対応しつつ、運用コストの最適化を支援します。

今後も日本オラクルは、ゲーム・プラットフォームを支えるクラウド事業者として、継続的なテクノロジーとサービスの提供を通じ、マイネット様の安定運用と事業成長に貢献してまいります。

マイネットは、引き続き最新のクラウド技術やアーキテクチャの積極的な採用を通じて、コスト最適化・セキュリティ強化・ユーザー体験向上を同時に実現し、持続的な収益成長と企業価値向上を目指してまいります。

【マイネットグループ】 <https://mynet.co.jp>

「Make COLOR - 毎日に感動を -」をミッションとして掲げ、ゲーム事業で培った強みを活かして様々な領域で事業展開を行うエンターテインメント企業。

ゲーム事業では、累計80本を超えるタイトル運営で培った運営力や企画・開発力を軸に、新規開発から部分受託といった新領域の拡大を積極的に推進。

新規事業では、選手の実成績に連動してポイントや勝敗が変動するファンタジースポーツを提供するスポーツDX領域と、総合的なソリューション提供を異業種向けに行っているBtoBソリューション領域を展開。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社マイネット IR担当

お問合せフォーム：<https://mynet.co.jp/ir/contact>